区政をきく
（代表質問・一般質問）

令和3年第１回定例会では、区政全般について、
５名の議員が代表質問を、７名の議員が一般質問
を行いました。以下、概要をお知らせします。

代表質問

2月17日(水)
石田　秀男　議員（自民）
若林　ひろき　議員（公明）
大沢　真一　議員（自・無）

2月18日(木)
中塚　亮　議員（共産）
須貝　行宏　議員（品改）

一般質問

2月18日(木)
新妻　さえ子　議員（公明）
小芝　新　議員（自民）
渡部　茂　議員（自・無）
くにば　雄大　議員（無所属）

2月19日(金)
鈴木　ひろ子　議員（共産）
藤原　正則　議員（品改）
西村　直子　議員（自民）

会派名は次の略語で記載しています。

自　民……品川区議会自民党
自・無……自民・無所属・子ども未来
品　改……品川改革連合
しな無……しながわ無所属クラブ
公　明……品川区議会公明党
共　産……日本共産党品川区議団
ネット……品川・生活者ネットワーク

本会議における発言の際はマスクを着用することとしておりましたが、令和2年第２回定例会本会議より、議長席および演壇においてはアクリル製飛沫防止パネルを設置し、マスクを外しての発言を可能としました。

委員会構成の変更がありました

令和3年2月19日の本会議において大倉たかひろ議員が議会運営委員を辞任し、松澤和昌議員が選任されました。

会派構成の変更がありました

令和3年4月1日付であべ祐美子議員とくにば雄大議員の2名により、新たに会派を結成する会派届が提出されました。
(会派名：立憲・無所属しながわ)
※上記の一般質問議員の紹介は、2月18日現在で記載しております。

代表質問

石田　秀男　議員（自民）

令和3年度予算案・施政方針について

問 新型コロナワクチン接種券や管理システム、コールセンター、データ入力などの準備状況や、会場を含めた接種方法は。

答 予定されている65歳以上の高齢者の接種に向けて、コールセンターなど運営委託に関する調整や、接種体制の確立のための医師会等との調整などを並行して進めている。3月1日にはコールセンターを開設し、3月中旬以降には高齢者に接種券を発送する予定だ。こうしたワクチン接種に関する情報は、広報しながわ、ホームページ等を通じて随時お知らせしていく。接種方法は対象者に接種券が届いたら各自で電話もしくはウェブ等にて予約をし、会場等での接種とする予定だ。

問 介護施設等での陽性者も増加している中、介護従事者が高齢者に次ぐ接種順位となっている。少しでも早い接種が必要だが、見解を。

答 施設従事者は、高齢者等と同時に施設内での接種が可能とされており、併せて検討していく。

問 水族館を中心にしたエリアの集客は、品川浦周辺地区や旧東海道、天王洲、競馬場や競艇場を含めた平和島エリアまで拡大して検討するべきと考えるが見解は。

答 水族館を魅力的にし、周辺の様々な施設でのイベントとパッケージとして捉えることは、区としても大変に重要と捉えている。
江戸時代、将軍家に鮮魚の献上を義務づけられていた御菜八ヶ浦のうち、品川区には品川浦と鮫洲に当たる御林浦があった。品川浦では漁業と並行して海苔の養殖が始まり、南品川、大井、大森へと広がった。品川区にも歴史ある海苔店が存在しているので、観光資源として活用することで地域や産業の活性化を図ることが可能では。

答 「しながわみやげ」の一品に「海苔」を取り上げて紹介するなど、品川区における海苔養殖の歴史を観光資源として積極的に発信し、集客につなげるよう努力していく。

問 シティマラソンの成功は、選手や開催者だけでなく、応援、ボランティア、地域の協力者などの支えによるところが大きい。魅力的なイベントとして全国からの参加者を募り、継続的に行うことで地域の活性化を図れると考えるが、開催に向けての意気込みは。

答 地域が一丸となって支え、親しまれる「地域イベント」として定着するよう取り組んでいく。

問 施設利用者を除く全ての65歳以上の方を対象とする認知症検診が実施されるが、この受診率を上げることは早期発見での適切な治療等につながる。どのような検査を考えているのか。また受診率向上対策をどのように考えているのか。

答 医療機関が取り組みやすく、受診者にも負担の少ない検診を予定している。検診への理解を広め、受診しやすい仕組みを構築していく。

問 品川区の子育て支援はすばらしいと評価される施設整備が必要だ。施設の複合化なども含めた議論を。

答 社会情勢の変化やニーズをきちんと捉えながら、関係各課と連携し、引き続き検討をしていく。

問 戸建て住宅の高断熱化など、国・都の補助事業のメニューも増加している。区も、いち早く補助事業を取り入れることが必要では。

答 太陽光発電システムの設置やLED照明設置、低公害車買換えなどに助成を行っており、国や都の補助制度の動きも注視していく。

問 障害児者総合支援施設の指定管理については、利用者に不安や不利益を生じさせない対応や体制づくり等、公募の趣旨に沿った施設になることが重要だが、見解は。

答 利用者個々の状況等をふまえ、利用者の主体性を尊重したサービス提供する体制作りに努める。建物管理については総合的・一体的な管理運営を行える体制としていく。

問 新庁舎整備基本構想・基本計画検討業務委託に係る受託者は、品川区の内容を十分に把握し、かゆいところに手が届く提案ができる業者を選定するように期待するが、意気込みを。

答 専門的知識や豊富な経験等に基づく提案が必要なため、簡易型プロポーザル方式を採用し、審査基準に基づき事業者を選定していく。